

通学道の安全整備について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

り組んでいます。市の予算としては、道路修繕費として平成24年当時の通学路整備に特化した予算を含む道路修繕予算総額は確保しており、地元要望により通学路は優先的に整備を進めています。

問 通学道の整備費は怎么样了か。

答 通学路整備に特化した予算は、平成24年度に各小学校区に予算300万円を割り当てて行った整備、平成25年度に国庫補助を受けて行った総額約5,500万円の整備があります。現在は国の社会資本整備総合交付金を活用して3路線を整備していますが、本年度は1路線のみの予算配分という状況です。県道も国の交付金を活用して3路線の安全対策に取

問 通学道の草刈りはどうなっているか。

答 500キロメートルに及ぶ市道のうち業務委託等による草刈りは60キロメートル程度で、手入れが行き届いていない状況です。また県道も7月から9月にかけて草刈りをされていますが、通学道の安全確保に至っていないのが現状です。そのため平成29年度から各地域の皆様にご協力いただき、町内の市道や生活道路の草刈りをしていただいた際に燃料等を支給しています。今後も一層周知を図り協力をお願いしていきたいと考えます。

問 県道小野香寺線の通学道の防犯灯の整備について。

答 防犯灯はスポット的に設置し連続性を持ちません。歩道等が整備されたところに連続的に街路灯を整備する構想について、今年度から試験的にやってみようと考えており、現地を確認して検討していきたいと考えます。

問 市道北条長線の西長町内の路肩整備について。

答 西長町内の道幅が狭い箇所の改修については、本年度、工事に着手する予定です。地元の意向を再確認した上で工法等検討し、工事発注をしたいと考えます。

■その他の質問項目

・農業問題について

加西病院について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西病院に対する神戸大学の意向は。

答 加古川中央市民病院、はりま姫路総合医療センター、北播磨総合医療センターの傘下のサテライト病院としてやっていくという意向で、それに沿って進むと考えます。

問 6月10日の生田病院事業管理者の挨拶では、経営改善について余り触れなかった。一方、「5年後に病院建てかえのゴーサインが出た」という話は飛躍しすぎて、逆に危機感を覚える。

答 減収の中で収支構造を考えることは、経営としてかなり難しく、そこはこれから勉強されると思います。建てかえの発言は、前のめりだったかもしれませんが、4月に病院トップに就任し、300人の職員を引っ張っていくための思いのあらわれであったと考えます。

問 極端に言えば、「北播磨総合医療センター加西分院」という流れか。これまでの神大と市長との協議はどうであったか。

答 (市長) 今、加西病院が神大と関係なく、医師を確保するのは不可能です。神大の思いを受け止め、方向性を出していくのが、神大病院長と私との話です。

問 3月の一般質問で、市長は、市民の思いと神大の医師派遣の考えは、大きくかけ離れていると答弁された。結局、神大の意向に従うということか。

答 (市長) やはり神大の力を必要としながら、近隣の高度急性期病院等と連携し、コンパクトな病院でも皆さんの医療ニーズに応えられる病院でないと、市民に全く受け入れられないと思っています。また、136床という数字が出て、私の力では無理だと思いました。136床になれば、診療科も大幅に縮小しないといけません。そのため、市民委員会を立ち上げ、市民と相談する時間を持ち、決めるということです。

問 市民委員会の思いが大きくなって、神大の意向と異なることになれば、收拾がつかなくなるのではないか。

答 (市長) タウンミーティングを通して、市民と一定の議論を積み重ね、認識を共有してきたと私は思っていますので、しっかりまとめられます。